

経営理念とカシオのCSR

カシオは、1957年の創業以来、「創造 貢献」を不変の経営理念としてきました。そして、この経営理念に従業員が常に意識して実践するために、「カシオで仕事を進める全ての人の誓い」として、以下のとおり「カシオ創造憲章 行動指針」を定めています。

カシオ創造憲章 行動指針 -カシオで仕事を進める全ての人の誓い-

第1章 私たちは、独創性を大切に、普遍性のある必要を創造*します。

1. 全てに対し、“普遍性のある必要”を追究する
2. 全てに対し、“あるべき姿”を描く
3. 全てに対し、“挑戦する意志”を貫く

第2章 私たちは、社会に役立ち、人々に喜びと感動を提供します。

1. 人々に、“無限の感動”を提供する
2. 人々と、“豊かな生活”をわかちあう
3. 人々と、“尊敬と信頼”の絆を育む

第3章 私たちは、プロフェッショナルとして、常に誠実で責任ある言動を貫きます。

1. 全ての言動に対し、“規則・法律に基づき”責任ある態度を貫く
2. 各々の役割に対し、“結果・成果”の責任を執る
3. 全ての仕事に対し、“毎日改善”に努める

※普遍性のある必要を創造

誰にとっても必要でありながら、まだ世の中になかったものを、新たに生み出すこと。これは製品開発のみならず、すべての業務においてカシオが追求すべきものです。

この第1章では、誰にとっても必要でありながら、まだ世の中になかったものを新たに生み出すという“普遍性のある必要”を創造することや、将来の最良の姿を思い描き、既存概念にとらわれずにこれを実現すること、さらに高い志と妥協することなく挑戦する姿勢について触れています。

また、第2章では常にお客様の視点で物事を考え、お客様の期待を超えた製品やサービスを提供すること、また、かけがえの無い地球資源と環境に配慮し、環境負荷低減に努めること、さらに「ギブ・アンド・テイク」の精神に立ち、関係する方々とお互いの立場を理解尊重し、ともに発展するという、カシオの事業にかかわるあらゆるステークホルダーへの責任を述べています。

さらに第3章では、規則・法律を順守し、誠意をもって事業活動を推進すること、自らの行動に責任をもち、経験を次の仕事に活かすこと、常に全体最適の視点から改善を心掛けるという、コンプライアンスの姿勢と従業員としての責任ある姿勢について述べています。

一方、CSRとは、企業を取り巻くステークホルダーに対し、経済・環境・社会面のあらゆる側面からの責任を果たすことであるといわれています。こう考えると、「カシオ創造憲章 行動指針」には、元々CSRの思想が内包されていることがわかります。

すなわち、カシオの従業員が日常の業務の中で「カシオ創造憲章 行動指針」を実践することは、同時にCSRを実践していることになるわけです。言い換えれば、“カシオのCSRとは、従業員が「カシオ創造憲章 行動指針」を実践し、事業活動を通じて経営理念を実現することである”と位置付けることができます。

この「カシオ創造憲章 行動指針」については、役員および部門長は毎年署名して誓約しています。また、全従業員もこれを記載したカードに署名の上、常時携帯しています。

その他、「CASIO Style」と題して、社内Webサイト上に経営理念にちなんだ創業者の考え方などを連載して、意識の高揚を図っています。